

会 議 録

1 会議名

令和3年度第12回吉川区地域協議会

2 会長挨拶

3 議題（公開・非公開の別）

・報告事項（公開）

（1）会長報告

（2）委員報告

（3）事務局報告

・協議事項（公開）

（1）自主的審議事項（公民館を含む地域活動の促進と施設の有効活用について）

（2）分科会の検討報告等について

（3）その他

・総合事務所からの諸連絡について（公開）

・その他（公開）

4 開催日時

令和4年3月17日（木）午後6時30分から午後7時41分まで

5 開催場所

吉川コミュニティプラザ 3階 大会議室

6 傍聴人の数

4人

7 非公開の理由

なし

8 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：五十嵐豊、薄波和夫、江村奈緒美、大滝健彦、片桐利男、佐藤 均、
関澤義男、高野幸夫、中村正三、橋爪正平、平山浩子、山岸晃一

・事務局：風間所長、平山次長（総務・地域振興グループ長兼務）、渡邊市民生活・
福祉グループ長（教育・文化グループ長兼務）、平原総務・地域振興グ
ループ班長、佐々木総務・地域振興グループ主査

9 発言の内容（要旨）

【平山次長】

- ・会議の開会を宣言
- ・委員12人の出席を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・会議録の確認：平山委員

【山岸会長】

- ・挨拶

【平山次長】

- ・次に議長の選出について、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により山岸会長から議長を務めていただく。

【山岸会長】

- ・議長を務めさせていただく。なお、会議録作成のため、発言をする場合は、挙手をし、私から委員の名前をお呼びするので、その後、発言をお願いする。発言は簡潔にお願いする。
- ・会長報告であるが、上越市吉川緑地等利用施設の廃止の諮問に対して、2月3日に答申書を市に提出するとともに、地域協議会だよりも掲載させていただいた。
- ・2月26日に吉川区地域協議会研修会を開催し、地域協議会委員、吉川区内の関係団体の方からもご出席いただき、名立まちづくり協議会の三浦元二会長から事例報告をしていただいた。今後、令和5年度予算の地域予算について、関係団体と協議をしながら進めていきたい。この後の協議事項の中で協議をお願いしたい。
- ・コロナ禍で延期となっていた市議会総務常任委員会と地域協議会会長との意見交換会を4月3日に開催するとの案内が届いている。皆さんの方で何かご意見があれば私にお知らせいただきたい。
- ・会長報告は以上である。次に委員報告をお願いする。無いようであれば、薄波副会長が柿崎区地域協議会の傍聴に行かれたので報告をお願いしたい。

【薄波副会長】

- ・柿崎区地域協議会に傍聴に行った理由は、新聞報道にもあったように県のゴミの最終処分場の候補地が柿崎区内の2カ所に決まったためである。候補地が5カ所に絞った時は点数付けをして決めたということだが、今回の2カ所については現地確認し、相対的な判断により絞り込んだという説明であった。環境アセスメントはこれ

からやるが、供用開始は2031年を予定しており、来年度には柿崎区に県の分室をつくるとのことであった。また、貴重な動植物がいるかもわからないため、きちんと環境アセスメントをやってほしいという意見が出された。地権者の了解はまだとられていないとのことである。

- ・もう1点、柿崎区における令和4年度予算の説明があり、地域協議会の予算として710万円の地域活動支援事業費補助金が盛り込まれているが、令和5年度には地域活動支援事業費補助金も無くなることから、今まで継続でやってきた事業についてどうするか、その検討も必要になってくるとの話もあったので報告する。

【山岸会長】

- ・委員の皆さんからも市議会や頸北4区の地域協議会の傍聴をお願いしたい。次に事務局報告をお願いします。

【平山次長】

- ・会長報告があった上越市吉川緑地等利用施設の廃止の答申に対して、市の所管課から通知が届いており報告させていただく。

(以下、資料により報告があった。)

【佐々木主査】

- ・令和3年度地域活動支援事業の補助金額の変更について報告する。今年度事業採択された、夢をかなえる会主催の春を呼ぶ新春落語寄席がコロナウイルス感染症の影響により中止となり、その事業に対する補助金38万9千円に対して、中止を周知するためのチラシ代の7千円のみ補助金額となった。このため差引38万2千円の執行残額となった。
- ・次に令和4年度地域活動支援事業について報告する。これは前回の地域協議会で決定されたもので内容をご確認いただく意味を込め説明させていただく。吉川区の採択方針であるが補助額の上限が70万円から100万円に増額となった。次に採択審査において審査前に提案の詳細を把握するため、地域協議会が必要と認めた提案団体はプレゼンテーションを行うこととした。次に6追加募集について、追加募集は行わないこととした。
- ・次に吉川区の審査要領であるが、勉強会の実施を含め変更はない。次に今日配布した緑色の募集要項の吉川区版をご覧ください。この募集要項は、3月25日の町内会文書の回覧として配布するチラシである。上から4つ目の星印であるが、「令和4

年度の本事業の予算は、令和4年第1回（3月）上越市議会定例会での議決をもって成立する。」とあり、現在市議会で審議がされている。募集期間は4月1日から4月21日までである。実施の方法に変更は無く、吉川区の予算配分額は、前年度と同額の560万円を見込んでいる。また、事業実施の流れとして、フロー図の⑧実施結果の公表、成果報告会の開催を令和4年度では実施することで決定されているため、該当者には事前に伝えることとする。また、事業の広報として、このチラシの他、総合事務所だよりの4月号、防災行政無線により広く周知する。また、事前相談を3月7日から3月31日まで行っており、現在5団体から相談がきている。

【山岸会長】

- ・以上の報告事項について、質問、意見はあるか。
（質問、意見は無かった。）
- ・公民館分館廃止の諮問は、令和4年度末には上がってくる地区がある。その答申を出すにあたり、各地区での協議経過を承知していなければならないため、その協議の場に地域協議会委員も出席させていただきたいと思う。
- ・2月26日の研修会における事例発表を基に吉川区の取り組みについて協議をしていかなければならない。自主的審議事項として、各団体と協議をしながら進めていくのもひとつの方法であるが、全委員の意見をお聞きしたいと思う。

【片桐委員】

- ・現在、3分科会で課題を検討、協議しているが、ある程度まとめた段階で報告してもらい地域協議会で分科会の方向性を協議していきたいと思う。

【大滝委員】

- ・まだ考えがまとまっていないが、他団体との関わりをどのように持っていくのか。地域協議会でどこまでするのか。名立まちづくり協議会のようなことを吉川区でもやっていけばよいかとも思うが、会長の質問の趣旨は何か。

【山岸会長】

- ・名立まちづくり協議会の取り組みを真似してやることもひとつの方法だと思う。令和5年度の地域予算はソフト事業のみであると聞いている中、まだその全体予算額もわかっていない。しかし令和5年度の予算に上げるとすると令和4年8月頃までにまとめないと間に合わないと思っており、先程の片桐委員の意見はひとつの方法ではあるが、協議の進め方、やり方を含め、皆さんの意見をお聞きしたいため、発言

をお願いしている。

【大滝委員】

- ・もう少し時間をいただきたい。

【江村委員】

- ・あまりに話が大きくてどうすれよいかわからないが、分野ごとの団体さんが集まって話しをするのがよいのか。早くしなければならぬのは会長の話でわかるが、まずは、まちづくり吉川と地域協議会、そして各団体が月一回くらい会わなければならぬのかなと思う。申し訳ないが考えがまとまっていない。

【五十嵐委員】

- ・私も考えがまとまっていない。令和3年度の吉川区の主な事業の資料があるが、これを見て具体的にピックアップしなければならぬのか。吉川区としてどういうところに重点を置いて予算をつけてもらうのか。各団体と話し合いながら具体的に的を絞っていかねばならぬと思う。

【山岸会長】

- ・私の個人的な意見として、道の駅周辺の活性化に向けていろいろな事業を引っ張ってこれないかと考えている。当然、吉川観光協会や道の駅周辺の団体と協議を繰り返しながら間に合わせればよいのではないかなと思う。そういうものをたたき台として意見をお聞きできればと思う。

【関澤委員】

- ・これはなかなか難しい問題だと思う。人口減少率は頸北の中で吉川区が一番高い。人口減少の中で住民が何を望んでいるのか、その拾い出しが重要だと思う。道の駅周辺のゆったりの郷、よしかわ杜氏の郷、四季菜の郷が連携しながら、道の駅の活性化が図られればと思う。そのためには観光協会等と協議しながら観光の起爆剤となるようなアイデアを出してもらって進めたらどうかと思う。

【高野委員】

- ・会長の考えのような道の駅の活性化について、今年度もコンサートをやったりして進めているが、コロナ禍でこのような状況であり、早く終息すればよいと思う。それらを含め吉川区のために予算取りをして事業を進めていけばよいと思う。

【中村委員】

- ・地域づくり分科会でやっていかなければならぬが、今、吉川区では農の景観づく

り、まちづくり計画のワーキンググループをつくって、来週2回目をやろうという予定もある。2月26日には吉川区地域協議会で研修会を開催した。4月になると地域づくり会議やまちづくり吉川の役員も交代になり、ある意味仕切り直しかと思うが、これらの団体は何を望んでいるのか、事業費を含め聞いていきたいと思う。来月になったら分科会を開いて関係団体との話し合いを含め、協議していきたいと考えている。この報告は、この後の分科会の報告の内容でもある。

【橋爪委員】

- ・地域協議会がイニシアチブをとって各団体と話し合いをするが、各団体の代表者だけが集まっても新たな発想を出すことは無理だと思う。地域協議会は権限も無いのにいろいろなことをしなければならない。各団体と話し合いをしても各団体の皆さんが乗ってこなければ意味がない。今後もいろいろな会議があると思うが、実践して動く人が集まり、横の繋がりを深くしていかないと物事は進まないと思う。今のところ地域協議会が中心になってもいろいろな会を束ねるのは無理だと思う。

【平山委員】

- ・地域活動支援事業では地域の小さな課題に対して活動ができていたと思うが、令和5年度には大きな予算になってしまって、小さなところまで手が届かない仕組みになってしまうのかもわからない。これからどうしたらよいのか、今後話し合っていければと思う。

【佐藤副会長】

- ・名立まちづくり協議会の話聞いて、吉川区としても何かしなければならないと皆さんは感じとられたと思う。市長もまだ具体的な青写真を示していない中で時間的制約もある。各団体代表者全員から集まってもらって会議をするのも難しいので、まずは各団体の核になる方から集まってもらって、吉川区をどうするか、どうありたいのかについて4月から話し合ってもらいながら、各団体を巻き込んでいくやり方で進めたらよいと思う。

【薄波副会長】

- ・決まっていることは、来年度で地域活動支援事業が終わるということと令和5年度から地域予算がつけられるということ。令和5年度予算は8月か9月頃につくらないと3月議会に間に合わないということ。吉川区全体を考えた時に地域協議会だけで決めることはできなし、いろんな団体の皆さんと話し合いをして進めていかない

と令和5年度予算に間に合わず何もできない状況も考えられるわけで、それをどうするかということも考えていかなければならない。来年度早々、地域協議会から各団体に声がけをして、この課題について話し合いをスタートすることになると思う。

【山岸会長】

- ・それぞれのご意見を伺ったが、令和4年度の地域活動支援事業について5団体から相談があったとのことだが、5年度からどうするのかということも考えていかなければならない。地域協議会は、以前あった地域事業費の見届け役だと私は理解していた。しかし地域事業費は撤廃され、その代わりに地域活動支援事業が始まり2か月、3か月かけて審議をしているが、これは我々の仕事ではないと私は考えている。今、やることは吉川区の将来を見据え、どの団体と協議をして話を進めていくか、それを考えるのが地域協議会だと思う。皆さんにもそのように認識していただきたい。人口減少率が他区より高いが、今後、吉川区だったらどうするのか、我々は考えていかなければならないと思うので、皆さんとこれからも自主的審議事項として継続して協議をお願いしたいがよろしいか。

(異議が無かった。)

【山岸会長】

- ・次に(2)分科会の検討報告等について、発言のある委員は挙手をお願いしたい。

【片桐委員】

- ・高齢者対策分科会であるが、交通弱者対策について報告する。3月1日に(株)みなもとの郷が運行している地域バスの状況について聴き取りを行った。私は有償運行されているものと思っていたが、実際は市からの委託事業で、無償運行であることがわかった。特に大きな問題や負担はなく、子供たちの送迎とデマンドによるダイヤ運行をしているとのことであった。牧区と大島区において地域バスによるデモ運行も始まるとの情報もあり、また、勝穂線の今後も含め注視していきたい。なお、路線バスの柿崎村屋線は30人ほどの乗客もあることから車両の小型化は難しいとのことである。スケジュール的には令和5年度予算には間に合わないので、令和6年度にあげられるか考えていきたいと思う。高齢化率も80%くらいになると現在の交通手段では難しくなると思うので、それまでに対策案を考えていきたいと分科会では検討している。

(他の2分科会からの報告は無かった。)

【山岸会長】

- ・ただいま分科会の報告について、質問、意見はあるか。

(質問・意見は無かった。)

【山岸会長】

- ・次に、(3)のその他に入る。私のほうから新潟県立吉川高等特別支援学校後援会の役員の選出依頼があったので協議をお願いします。今期は理事に佐藤副長、代議員に片桐委員をお願いをしているが、結論としてお二人には、もう1期お願いしたいと思うが、佐藤副会長、片桐委員いかがか。

(佐藤副会長、片桐委員両氏が了解した。)

【山岸会長】

- ・ご本人から了解をいただいたので、引き続き選任することとしてよろしいか。

(異議が無かった。)

【山岸会長】

- ・次に、次第の5総合事務所からの諸連絡についてに入る。事務局からお願いします。

【風間所長】

- ・川谷地内において大規模な法面崩落があったので報告する。場所は川谷地内の県道大潟高柳線で、市が覚知したのが3月16日の朝8時頃、地元の方からの電話連絡であった。至急、現場に行き確認したところ、被災箇所は延長、高さともに100m以上ある大規模なもので、河川にまで土砂が流入し閉塞を起こしかけていたが、今朝確認したところでは水は流れていた。原因は融雪によるものと思われるが、所管の新潟県では今後、測量を含め調査に入るとのことである。現在、県道は通行止めとなっており、上川谷集落の方には大島経由で通行するようお願いしている。幸い人的被害はなく、市では今後、新たな災害が発生しないか注意しているところである。

【山岸会長】

- ・何か質問、意見はあるか。

【片桐委員】

- ・法面崩落の原因は昨夜の地震ではないのか。災害の発生場所は上川谷と下川谷の間か。

【風間所長】

- ・時間的に地震ではなく融雪によるものと思われる。発生場所はそのとおりである。

【山岸会長】

- ・被災道路は生活道路でもあり、早めの復旧をお願いしたい。最近災害が増えているが、安全安心に努めてもらうとともに情報提供を含め今後もお願いしたい。
- ・次に、次第の6その他に入る。私の方から当協議会の正副会長の選出について、前期に正副会長が就任から2年経ったら改めて選出について諮ることになっていたが、残念ながら諮らずに終わってしまった。今期はちょうど2年が経過するため、この件について皆さんにお諮りしたい。私を含め現在の正副会長でよろしいか、あるいは新しい方と交代した方がいいのか、ご意見を含め協議をお願いしたい。

【片桐委員】

- ・現在の正副会長から引き続き今後の2年間もお願いしたい。

【関澤委員】

- ・片桐委員の意見に賛同し、引き続き現正副会長にお願いしたい。

【山岸会長】

- ・他に意見は無いか。
(他に意見は無かった。)

【山岸会長】

- ・他に意見は無く、反対意見も無いことから、私を含め現在の正副会長が引き続き務めることとしてよろしいか。
(異議は無かった。)

【山岸会長】

- ・引き続き私を含め、現体制で正副会長を務めさせていただく。引き続き委員皆さんのご協力をお願いしたい。
- ・他に委員の方から何かないか。

【橋爪委員】

- ・先ほどの法面崩落の報告であるが、私も現場を確認してきたが、かなり大規模な法面崩落である。現在、生活されている世帯もあり、生活道路が寸断され、たいへんな不便を強いられることから早い復旧をお願いしたい。

【風間所長】

- ・了解した。

【山岸会長】

- ・次に、次回の日程であるが、4月の地域協議会は、地域活動支援事業の案件もあることから第3木曜日ではなく、第4木曜日の4月28日の開催でお願いしたい。開催時間、会場はいつものとおりである。この日程でよろしいか。

(異議は無かった。)

【山岸会長】

- ・ご異議が無いので、その日程でお願いします。
- ・閉会の挨拶を薄波副会長にお願いします。

【薄波副会長】

- ・以上で第12回吉川区地域協議会を閉会する。

10 問合せ先

吉川区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL: 025-548-2311 (内線213)

E-mail: yoshikawa-ku@city.joetsu.lg.jp

11 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。